

ルール関連

- Q:** キャラクター2人が条件のキズナカードを配置した場合、どちらが修正を得るのか？

A: 両方です。キャラクター2人ともカードの修正を得ます。
- Q:** キャラクター2人が条件のキズナカードはいつまで有効ですか？

A: その中1人がゲームの流れが離れた時、魔女の陣営が公開した時、または同じプレイヤーが新たにキズナカードを配置した時、そのキズナカードを捨て場に置き、無効になります。
- Q:** 魔法少女が攻撃された時、いつに回避判定を行えるのか、そしていつにダメージを取り消せるのか？

A: 魔法少女が攻撃された時、ダメージを取り消す、攻撃対象を変更するいろんな能力を発動できる。その中はマミの聖なる願い、杏子の偉大なる願い、杏子の聖なる願い。エニシカードI-13などの能力を含める。これらの効果は先に解決してから、戦闘順番の通りに回避判定を行うことができる。

攻撃を回避した場合、またはダメージカードが取り消された場合、それらのダメージカードをダメージデッキの一番上に戻す。それ以外の場合、ダメージカードを得る。一部の魔女の攻撃を除く、ダメージカードは配置した後にしか検視できない。ダメージカードの右上が魔女の記号がある場合、強制的に全てのプレイヤーへ公開した後、裏向きにソウルジェムゲージに置く。
- Q:** ダメージカード配置の向きについてよく分からない。

A: ワルプルギスの夜戦の前、全てのダメージカードは裏向きでソウルジェムゲージに置く。ワルプルギスの夜戦の時は表向きでソウルジェムゲージに置く。そのため、裏向きのダメージカードはプレイヤーの陣営を示す。
- Q:** ただの少女は戦闘に参加しますか？

A: ただの少女の魔法少女と同様に戦闘に参加するかを宣言します。攻撃順番が#1の場合、強制的に参戦します。ただし、ただの少女には攻撃力がないのため、敵へ攻撃することができず、ダメージを与えられない。戦闘中、ただの少女は契約して魔法少女になることができる、その場合対象1つにダメージ3点を与える。契約瞬間のダメージは攻撃ではない。つまり、参戦した「ただの少女」は攻撃できないが、魔法少女になることができる。ただの少女がなんらかの原因でダメージカードが得た場合、強制的に魔法少女になる。

6. **Q**：だたの少女が契約した時、対象にダメージ3点を与えた後、攻撃できますか？
A：できない。ダメージ3点を与えた後、対象はまだ場に残っている場合、次のプレイヤーの番になる。
7. **Q**：エニシカード I-10 ~ I-12 で、プレイヤー1人のHPを檢視した後、ほかのプレイヤーに知らせる必要があるか？
A：嘘つくても、知らせても大丈夫ですが、次のイベントフェイスまで魔女を告発することができない。
8. **Q**：ワルプルギスの夜戦の時にダメージカードが得た場合、元の陣営をよく間違える。
A：ワルプルギスの夜戦の前、全てのダメージカードは裏向きでソウルジェムゲージに置く。ワルプルギスの夜戦にダメージを与えた時、表向きにソウルジェムゲージの一番上に置く。そのため、裏向きのダメージカードはプレイヤーの陣営を示す。
9. **Q**：ワルプルギスの夜戦に、まどかの聖なる願いの効果を発動できるか？
A：できない。この効果はターン開始時のみ発動できる。ワルプルギスの夜戦にターン開始というタイミングが存在しないため、この願いを使用できない。
同じく、さやかの奇跡の願いと杏子の奇跡の願いもワルプルギスの夜戦に発動できない。
10. **Q**：戦闘失敗カウンターが5枚になった場合、ワルプルギスの夜が回避6になるが…
A：魔法少女の攻撃がワルプルギスの夜に命中できないため、魔女陣営の勝利となる。
11. **Q**：陣営が公開していない魔女プレイヤーを倒す方法がないけど。
A：陣営が公開していない魔女は、ワルプルギスの夜戦前に魔女になったので、そのキャラクターを消滅には陣営を公開させた後、魔女としてのHPを0にする必要がある；魔法少女の外見のままでは、いくらダメージカードが与えても消滅されない。
魔法少女側であるなら、明らかに魔女であるプレイヤーを告発しよう。攻撃力にボーナス修正がある上、ワルプルギスの夜戦の時に手数が減る。
12. **Q**：ワルプルギス戦の時、場にいる魔女プレイヤーはワルプルギスの夜のHPと回避力を加算するか？
A：加算しない、場にいる魔女プレイヤーは戦闘失敗カウンターに含まないのため、Xの値に影響しない。
13. **Q**：ワルプルギスの夜を倒した後、魔女プレイヤーを全滅する必要があるか？
A：魔法少女側の勝利になったので、全滅必要はないです。

14. **Q**：ダメージデッキにカードがなくなった。

A：一般的には起こりにくいですが、ダメージカードが足りない時、マニュアル6.2.4のようにゲームの流れから離れたプレイヤーのダメージカードをランダムにダメージデッキに戻る。

15. **Q**：4種類ダメージの数量と、ほかのプレイヤーに公開すべきの枚数は何枚ある？

A：ダメージカードの分布は以下の通り。

〈-1〉 10枚、そのうち公開すべきのは5枚。

〈-2〉 9枚、そのうち公開すべきのは4枚。；

〈-3〉 8枚、そのうち公開すべきのは4枚。

〈-4〉 7枚、そのうち公開すべきのは3枚。

イベントカード関連

番号	カード名	解釈
E-01	ゲルトルート	<ul style="list-style-type: none">この魔女の特殊能力は、このターンの通常戦闘で攻撃順番が一番と二番的のプレイヤーの攻撃を無効にする。ただの少女が契約するとき与えるダメージは攻撃ではないので、この能力に無効されない。
E-04	エルザマリア	<ul style="list-style-type: none">この魔女はプレイヤーのダメージカード数によって攻撃対象を決める。全てのプレイヤーが受けているダメージカード数が同じの場合、攻撃順番が一番優先するプレイヤーはダメージカード数が一番多い方としてダメージカード1枚を受けて、その後ダメージカード数が一番少ない方としてダメージカード2枚受けて、総計3枚を受ける。
E-05	イザベル	<ul style="list-style-type: none">この魔女の攻撃は手番プレイヤーがダメージカード3枚を引く、見てから自分を含めて攻撃に参加したプレイヤーをを選んで配れる。ただし、プレイヤー1人に最大1枚しか配れない。ダメージカードが配された後、回避判定により取り消すことができる。また、全ての敵の攻撃は回避判定により取り消せる。攻撃に参加した人数が2人以下の場合、この魔女の攻撃が変更したので、手番プレイヤーはダメージカードを検視できなくなる。
E-06 E-07	パトリシア アンニャ	<ul style="list-style-type: none">ただの少女がパトリシアに遭遇した場合、攻撃力がないので、パトリシアへ攻撃することができず、パトリシアからの攻撃も受けない。ただの少女が魔法少女になると選択する場合、パトリシアへダメージ3点を与えて消滅できる。契約瞬間のダメージは攻撃ではないので、パトリシアは回避判定を行えない。魔法少女にならないと選択する場合、次のプレイヤーへ順番に回す。アンニャに遭遇した場合も同じように処理する。

E-11 E-13	ダニエル マテュー	<ul style="list-style-type: none"> E-05 イザベルと同じ、ダメージカードの値を検視した後、攻撃に参加したプレイヤーの中にダメージカードを与える対象1人を指定する。
E-12	ゼバスティアンス	<ul style="list-style-type: none"> この使い魔は攻撃能力がないが、次回にダメージカードが与えた時、さらに1枚のダメージカードを与える効果がある。ダメージカード源は、特殊イベントからのダメージや、魔女告発失敗のダメージなどを含む。 次回にダメージカードが与えた時、複数のプレイヤーにダメージカードが与えた場合順番が優先のプレイヤーに追加する。 例えば、ゼバスティアンスに遭遇した次のターン、イベント E-18 が引いた場合、ほむらを除く全ての魔法少女にダメージカード1枚ずつを与える。このターン順番が最優先したプレイヤーにダメージ1枚を追加するため、総計ダメージ2枚を与える。
E-21	やっぱあれ？才能の違いとかあるか？	<ul style="list-style-type: none"> この特殊イベントはプレイヤーのHPを減るが、ダメージカードではないのため、直上のグリーフシードはこのカードを飛ばして、このイベントの下のダメージカードの値を回復する。

魔女プレイヤーカード関連

番号	カード名	解釈
M-01	救済の魔女	<ul style="list-style-type: none"> 救済の魔女の特殊能力は「場にいるほかの魔女と使い魔は特殊能力を失う」。この能力は魔女陣営が公開した瞬間から有効する。起動型能力とは違い、起動するタイミングがなく、取り消すできるタイミングもない。
M-02	ホムラの魔女	<ul style="list-style-type: none"> ほむらの魔女の特殊能力は使い魔を場に召喚できる。その際、捨て場にあるイベントカードを裏向きで召喚された使い魔を代用できる。使い魔は1ターンに1体しか召喚できない。最大数量に制限無し。

願い効果関連

願いカード	解釈
まどか-聖なる願い	<ul style="list-style-type: none"> 例えば、ソウルジェムゲージにあるカードは：(ダメージカード / グリーフシード / <HP-2>イベントカード / ダメージカード) の場合「上からのダメージカード2枚」は一番上から1枚目と4枚目のカードとする。 本来、グリーフシードは上から4枚目のカードのダメージ分をHP回復するが、この能力によって4枚目が取り除かれた場合、グリーフシードの下にダメージカードがないので、グリーフシードはHPを0点回復する。 この願いカードは、ゲームの中唯一プレイヤーを魔女陣営から魔法少女陣営に変える能力である。

ほむら-聖なる願い	<ul style="list-style-type: none"> この願いは「E-22 ワルプルギスの夜」イベントに使用できない。
ほむら-奇跡の願い	<ul style="list-style-type: none"> この能力は戦闘開始前に発動しなければならない。順番交換の効果は、戦闘が終わって、プレイヤーが報酬を得た後に回復する。順番を交換する効果は、プレイヤー位置の交換として処理するので、「両側」「左・右側」に対象する効果に影響し、報酬が得るの方にも影響する。 ワルプルギスの夜戦で発動する場合、ワルプルギスの夜戦が終わるまで効果が持続する。 まどかが魔法少女になった場合、攻撃と回避の修正を含めて、この願い全ての効果は無効になる。
マミ-偉大なる願い	<ul style="list-style-type: none"> エニシデッキにカードがない場合、この能力は無効になる。
マミ-聖なる願い	<ul style="list-style-type: none"> 魔女や使い魔の一回の攻撃を全部取り消すことができる。取り消されるダメージカードを検視しないままに、元の順番でダメージデッキの一番上に戻る。
マミ-奇跡の願い	<ul style="list-style-type: none"> 対象のプレイヤーが魔女陣営の時も有効、そのプレイヤーをゲームの流れから離らせる。
杏子-聖なる願い	<ul style="list-style-type: none"> この願いのタイミングは敵が攻撃する時、そして全てのプレイヤーが回避判定を行う前にしか発動できない。その後杏子は回避判定を行うことができる。取り消されたダメージカードを検視しないままに、ダメージデッキの一番上に戻る。
杏子-奇跡の願い	<ul style="list-style-type: none"> タイミングが常時以外の願いカードは一回しか使用できず、タイミングを満たす時に使用するかを選択できる。というわけで、さやかが魔女宣言しても、この願いは必ず発動するとは限らない。 この願いは、さやか自分で魔女陣営を宣言する時にしか発動できない、告発された場合、またはワルプルギスの夜に陣営が公開した場合は発動できない。